

2026年8月2日（日）

聖霊降臨節第11主日

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~12:00

＜神の招き＞

前 奏 ①私はあなたを呼ぶ、イエスよ クレブス
②アンダンテ メンデルスゾーン

招きの詞 エフェソの信徒への手紙 2:17~18

交読詩編 94 : 8~15

讃美歌 12

＜神の言葉＞

聖 書 出エジプト記 25 : 1~9
(旧約 聖書協会共同訳 124 頁)
ヘブライ人への手紙 8 : 1~6
(新約 聖書協会共同訳 400 頁)

祈 禱
讃美歌 50
説教 「新しい優れた約束」 熊江秀一牧師

祈 禱
黙 想
讃美歌 449
聖 餐
讃美歌 81

＜神への応答＞

信仰告白 日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 28

派遣と祝福

後 奏 ①イエスはわが喜び バッハ
②フーガ No. 5 テレマン

宣教報告①

夕 礼 拝 18:00~19:10

＜神の招き＞

前 奏 前奏曲 ヘ長調 シャイデマン
招きの詞 エフェソの信徒への手紙 2:17~18

交読詩編 94 : 8~15

讃美歌 57

＜神の言葉＞

聖 書 エゼキエル書 37 : 15~22
(旧約 聖書協会共同訳 1339 頁)
ルカによる福音書 9 : 1~9
(新約 聖書協会共同訳 119 頁)

祈 禱
讃美歌 153
説教 「十二人を派遣する」

佐藤潤伝道師

祈 禱
黙 想
讃美歌 402
聖 餐
讃美歌 81

＜神への応答＞

信仰告白 日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 25

派遣と祝福

後 奏 いざ喜べ、キリスト者よ フェッター

今週の御言葉

しかし今、私たちの大祭司は、はるかに優れた務めを得ておられます。この方は、さらにまさった約束に基づいて制定された、さらにまさった契約の仲介者だからです。
(ヘブライ人への手紙 8 : 6)

次週の礼拝（8月9日） 平和聖日

① 9:00、② 10:30
説教「新しい契約」
熊江秀一牧師
エレミヤ書 31 : 31~34、
ヘブライ人への手紙 8 : 7~13
交読詩編 127 : 1~5
讃美歌 13、371、561、28

夕 18:00
説教「神の国の豊かさ」
佐藤潤伝道師
列王記下 4 : 42~44、
ルカによる福音書 9 : 10~17
交読詩編 127 : 1~5
讃美歌 58、432、543、25

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 熊本地震と東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 8月の宣教の為に
4. 牧師・伝道師の為に
5. 平和を語る会とキリストの平和の為に
6. 広島と長崎の原爆記念日の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

***関東教区お祈りカレンダー** 館林教会 安中教会 原市教会

◇先週の説教より「光の子として歩む」 エフェソの信徒への手紙5章6～20節、イザヤ書60章1～6節 佐藤潤伝道師

「光の子として歩みなさい」と求められている。私たちは、かつては罪と死に支配された闇の中に生きる者でした。しかし今や、洗礼を授かり、キリストにあって闇から光へと移され、新しい命を与えられ、「光の子」とされている。不品行や食欲に支配される古い生き方ではなく、新しい身分にふさわしく歩むことが求められている。

その歩みは「あらゆる善意と正義と真実」という光の実として現れる。自分の益ではなく他者の益を求め、神との正しい関係に生き、自分の欲望ではなく神の御心を選び取り、偽りを捨て、神の前に開かれた生活を送る。これらは人間の努力による成果ではなく、キリストと結ばれ、聖霊によって新しくされた者に神が実らせてくださる実りである。

光の子とされた者は、「何が主に喜ばれるかを吟味し」、悪の力が満ちる時代の中で、神のために時を用い、み言葉に聞き従って歩む。

その歩みを支える力は「聖霊に満たされること」にある。「酒に酔う」ように一時的な慰めを求めるのではなく、聖霊によって心と知性を新しくされ、神の御心に従う喜びに生きる。聖霊に満たされた者は、「詩編や賛歌、霊の歌」をもって互いを励まし、教会を建て上げていく。いつもすべてのことについて、主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝していくのである。

賛美と感謝は、神に愛された子として与えられた恵みへの自然な応答であり、教会の一致を生み出し、神の愛を世に証しする歩みとなる。

「光の子として歩む」とは、単に立派な人になることではない。キリストに結ばれ、聖霊に導かれて光の実を結び、賛美と感謝に生きつつ、救いの完成という希望に向かって歩み続けること。その歩みを通して、光の源であるキリストご自身が、なお闇の中にいる人々を照らし、光の子へと招いてくださる。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。